



平成 19 年 6 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社ファーマフーズ
代 表 者 名 代表取締役社長 金 武 祚
コ ー ド 番 号 2 9 2 9 (東 証 マ ザ ー ズ)
問 合 せ 先 常務取締役総務部長 上野竹生
T E L 0 7 5 - 3 9 4 - 8 6 0 0

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 9 月 13 日の決算発表時に公表した平成 19 年 7 月期(平成 18 年 8 月 1 日～平成 19 年 7 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 7 月期の業績予想の修正(平成 18 年 8 月 1 日～平成 19 年 7 月 31 日)

(金額単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,720	193	110
今回修正予想(B)	1,100	160	145
増 減 額(B-A)	620	353	255
増 減 率(%)	36.0	-	-
(ご参考) 平成 18 年 7 月実績	1,200	184	105

2. 修正の理由

当社は、今期においては海外営業展開の本格始動と次世代製品の開発に主力をおいた企業活動をすすめてまいりました。平成 19 年 3 月 7 日に公表いたしました中間業績予想の修正におきましても、当社の今期売上が比較的下期に集中すること、ずれ込んだ新商品採用による受注が見込まれること等により、通期業績予想については変更することなく営業活動に注力してまいりました。

しかし、大手飲料メーカーへの初回納品量が予定量以下であったこと、葉酸たまごの販売網整備が遅れたこと、韓国・乳業メーカーとの売買開始が期末にずれ込んだことにより、売上の進捗が計画を下回り、予想を下回る見込みとなりました。

なお、平成 18 年 9 月 13 日に公表いたしました「中期経営計画」は現在再検討いたしておりますが、既に中国への営業展開のための焼津水産化学工業株式会社との業務提携、アメリカにおける食品素材に関する認可取得、株式会社広島バイオメディカルの設立等の様々な施策に着手しており、全社一丸となって早期の業績回復に向け取り組んでおります。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上